

議会議会
だより

ふなだた

No.133

20年/1



年頭あいさつ	2P
12月定例会概要	3P
議案審議・一般質問のゆくえ	4～5P
一般質問	6～7P
研修報告・委員会活動・所管事務調査・陳情	8～9P
町民の声・人事案件・編集後記	10P

神が舞い(幅神楽)

年頭にあたって



町議会議長 佐藤 勝

明けましておめでとうございます。

初春を寿ぎ謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成20年という節目の年に当たる今年。最良の年の出発点としたいものです。

さて、昨年の4月、議員定数を16名から10名に削減して選挙が実施されました。選出された10名の議員で鋭意努力奮闘いたしているところです。これも偏に町民の皆様からの日頃の議会活動に対する深いご理解とご協力の賜と、衷心より厚く感謝申し上げます。

さて、昨年は国政に於いて、参議院選挙で民主党が圧勝しての「ねじれ国会」、「国民年金」や「薬害肝炎」の問題が発生しました。また、我が町に直接かわる「超安の米価」は政治問題となりました。特に最近の地域社会の現状は「財政力の格差」をはじめとして、「地域間格差」（都市と地方）が拡大し多くの地方が疲弊しています。この現実のもとに議会は地方交付税増額や一般財源確保など国に対して強く要望を申し上げているところです。

一方に於いて町が抱える「少子・高齢化」は、人口の減少に歯止めがかからず若者の定住対策が今後の大きな課題としてクローズアップされていくことでしょう。

議会の果たす役割が増々重要となる年と自覚し、議員一同心して力強く前へと進んで行く決意でありますので何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

最後に町民各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

議長	佐藤 勝
副議長	森 晃
議員	叶内太一

信夫正雄

八 鍬 太

叶内富夫

野尻益夫

大場清之

加藤憲彦

沼澤正則

高橋明彦

大場正江

主 査

町営住宅の入居希望者の把握は 集合バスの利用促進を

12月定例会 11日～13日

12月定例会は11日～13日までの3日間の会期で開催され、提出された全議案を全会一致で原案通り可決しました。

定例会に提出された

陳情2件は文教民生常

任委員会に付託され、

審査の結果採択し、意

見書を政府関係機関に

提出しました。

12月補正予算額

会計名	補正額	予算総額
一般会計	850万円	37億2,650万円
特別会計		
国民健康保険	710万円	6億8,370万円
介護保険	232万円	5億9,178万円
簡易水道事業	100万円	1億5,931万円
農業集落排水事業	80万円	3億3,980万円

主な付議事件

一般会計補正予算

特別会計補正予算

選挙管理委員及び

選挙管理委員補充員の選挙

固定資産評価審査委員会

委員の選任

人権擁護委員の推薦

教育委員会委員の任命

質 答 心 疑

議員 庄雪車の売払いについて、利用しているスポーツ少年団等との話し合いがあったのか。

振興課長 今年も貸していただきたいとの話はありませんが、購入してから9年が経過した庄雪車であるため、修理に高額な費用がかかること、ナイター設備の撤去により利用時間に限りがあり、他の施設を使用していたら、とお願いし、了解を得ました。



犬の散歩、マナーを守っています。

議員 最近富田地内で不法投棄があった。他の町内にもあるのか。また、散歩時の犬のふんの処理や苦情に対するの広報活動は。

町民課長 年々環境への関心が高まっており、不法投棄については毎年、春と秋にパトロールを行っています。今年、町内1カ所で関係者と協力し、不法投棄のタイヤ回収作業を行いました。年数回、野焼きと不法投棄防止の広報活動を行っています。

春の犬の予防注射の折に、飼い主のマナーについてチラシを配布し、ふんの処理については、「のぼり旗」を設置し啓発活動に力を入れています。今後、防災無線での呼びかけも検討していきます。

議員 町外からの居住希望者に対し、中古住宅の斡旋などの考えは。

振興課長 中古住宅斡旋は今後考えていきます。町営住宅の情報については、役場に来ていただいて担当者と相談していただきたい。

議員 12月より集合バスがスタートしましたが、利用者数は。また利益が望めるのか。

振興課長 今までは2台で運行していましたが、今回から1台で、松橋、長者原、舟形、紫山を経由して、県立病院へ8時20分まで着くように運行しています。利用者数は、まだ3日からスタートしたばかりですので、人数は把握していませんが、2、3人程度です。今後も大いに利用していただきたいと思っています。

小型タクシー、ジャンボタクシーで運行しています。



グランドゴルフ大会開会式（ふれあい広場）

議員 若あゆ温泉の果樹園設置の経緯と管理・出荷状況は。今後、果樹園のオーナー制、また、花壇への転用などの考えは。

町長 農林省の補助事業を得るために畑地化が必要で、果樹園もその事業の一貫として行いました。若あゆ温泉のお客様に買っていただけていますが、果樹園だけで採算を取るのには難しいと考えます。ご指摘いただいたオーナー制については今後検討します。

振興課長 果樹園の管理については、専門家に指導していただいています。来年度は良い収穫が見込めるということです。ご指摘いただいた花壇への転用については、別の場所に花を植えることができないか検討いたします。

議員 人事院勧告に伴い完全実施した場合、町職員への改正後の給与と支出の増額分はいくらになるのか。

総務課長 今回の改正は、若年職員層の給与改正、扶養手当の改正、勤勉手当の改正の3つで合わせて48万2千円の増額です。

現状

国の行財政改革に伴い地方交付税は毎年削減されています。ふながた改革推進プランの実施に基づき諸経費の削減に努めています。対前年度比で人件費が3,255万7千円。物件費が3,175万6千円削減できました。

シリーズ

一般質問のふなぐさ

(平成17年6月定例会)

質問

年々地方交付税の減少が避けられず、歳入に見合った歳出の削減や行政改革が急務であるが、機構改革、課体制の見直しにより、経費削減効果はあるのか。

答弁

将来にわたっての人員費などを抑制するため機構改革を実施し、少ない職員で今までの以上の行政サービスをするために、縦割りの行政から、横断的な機構に変えて事務の効率化を図りました。

議員 若あゆ温泉ふれあい広場(センターハウス)を予約し使用していたのに途中から管理人がいなくなり、公衆トイレが使えなかった。管理体制と指導が足りないのでは。

振興課長 温泉が忙しい時には下のセンターハウスの職員の協力が必要になるため、留守になる時もあります。今後問題の起きないように指導します。



利用されている集合バス



大場清之 議員

町税及び使用料金等の 収納対策について

全庁的な連携により徴収の強化



税務国保班の執務状況

【質問】 昨年7月に収納対策本部を設置し対策に努めている事は認めますが、18年度の未納額は町税や保育料住宅使用料合わせて2140万円、保険税2547万円、介護保険料66万円、下水道使用料1302万円合計6055万円と膨大な額になります。この内、町税315万円、保険税53万円、合計368万円が不納欠損となり、17年度との比較では町税で2倍、保険税では5倍にも膨れ上がっています。また、滞納繰越分の収納率も9・85%から26

%と低い水準であり不納欠損額の増加が心配されます。米価の半減や商工業の低迷する中、苦しくてもまじめに納めている町民のことを考えると、収納対策の抜本的な見直しが必要と考えます。次の二点を提案します。
一、財源の少ない当町ではあるが少しでも安い料金を設定する必要があると考えるが如何か。
二、収納対策本部だけでは不十分であり、専門職員で組織する収納対策室等の新設が必要であると考えるが如何か。

【町長】 町税等の滞納額は増えており、昨年から全庁的な連携を図り徴収してまいりました。今年度は新規滞納者を含め50世帯を対象にして、8月から来年5月までの10カ月間に亘り、17班体制で徴収を強化してまいります。実績として、税関係では繰越分と現年度分を含めて、11月22日現在で、46件241万円、住宅使用料は11月28日現在で、11件117万円、下水道使用料は11月7日現在で379万円の合計737万円を徴収しております。

不納欠損額も昨年より増加しておりますが、滞納者の財産調査を実施し、徴収の不納世帯については県からの指導もあり、不納欠損処理にしております。住民負担の公平性の観点からも納税に誠意のない世帯については、預金の差し押さえを先月に実施しました。今月末にも数件の差し押さえの実施を予定しております。

水道料についても、納入相談にに応じない6世帯については先月に給水停止を実施しております。

【町長】 第1点目の提案として、少しでも安い料金設定できないかとのことですが、保険税については全体の医療費が少なくすめば可能になります。高齢化社会で医療費の削減は厳しい課題ですが、引き続き健康づくりに力を入れて抑制に務めてまいります。

第2点目は専門職員で組織する収納対策室の新設についてですが、最上管内の同一町村との比較では、徴収専門職員を配置しているところもあります。しかし、他町村と比較して税担当者が数人少ない状況であり、徴収体制の見直しを今後の検討課題としていきたいと考えます。



沼澤正則 議員

幼児教育と特別支援教育について

到達度の評価、検証と専門部会を設置

第一章 総則
(目的)
第一条 この法律は、発達障害者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進のために発達障害者の症状の発現後できるだけ早期に発達支援を行うことが特に重要であることにかんがみ、発達障害を早期に見出し、発達支援を行うことに関する国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、学校教育における発達障害者への支援、発達障害者の就労の支援、発達障害者支援センターの指定等について定めることにより、発達障害者の自立及び社会参加に資するようその生活全般にわたる支援を図り、もってその福祉の増進に寄与することを目的とする。
(国及び地方公共団体の責務)
第三条 国及び地方公共団体は、発達障害者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進のために発達障害者の症状の発現後できるだけ早期に発達支援を行うことが特に重要であることにかんがみ、発達障害の早期発見のため必要な措置を講じるものとする。
2 国及び地方公共団体は、発達障害児に対し、発達障害の症状の発現後できるだけ早期に、その者の状況に応じて適切に、就学前の発達支援、学校における発達支援その他の発達支援が行われるとともに、発達障害者に対する就労、地域における生活等に関する支援及び発達障害者の家族に対する支援が行われるよう、必要な措置を講じるものとする。
3 発達障害者の支援等の施策が講じられるに当たっては、発達障害者及び発達障害児の保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護する者をいう。以下同じ。)の意思ができる限り尊重されなければならないものとする。
(教育)
第八条 国及び地方公共団体は、発達障害児(十八歳以上の発達障害者であって高等学校、中等教育学校、盲学校、聾(ろう)学校及び養護学校に在学する者を含む。)がその障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるようにするため、適切な教育的支援、支援体制の整備その他必要な措置を講じるものとする。

発達障害者支援法より抜粋

【質問】 統合保育所では、教育委員会が主体となり幼児教育を推進することでしたが、その具体策を伺います。
特別支援教育先進校のように教育特区の認定を受け町独自の魅力ある教育を行う考えはありますか。また、発達障害者支援法に基づき、各クラスに6%いるといわれている、発達障害の子どもたちを早期に見つけて支援するためには、現行の知能検査をWISC-I 検査に替えて実施することが一石二鳥と考えますが、いかがでしょうか。

経営計画書を作成してはいますが、現在、その具現化や体制づくりを進めています。特別支援教育では、学習障害など、支援が必要な児童・生徒の教育は普通学級の中で行うという考えです。そのために専門部会を設け、指導力の向上を図っています。その他、県や町の職員も配置し教育を進めています。WISC-I は、保護者の理解や専門機関の協力が必須ですが、発達障害児を見出すということではなく、支援策を講ずるために実施しております。知能検査の方法については、今後検討します。

【町長】 高速通信網の整備に信ずる考えはありませんか。
次に地上波デジタル放送についてですが、色々な法的規制や膨大な費用がかかったり、現在ある集落の共同テレビ組合との調整、維持管理など多くの課題があります。町内にある15の共同テレビ組合では、すでにデジタル切り替え済み、切り替え予定や解散を決定している組合もあり、本事業での対応は困難と思います。

最上地方町村議会議員研修

(10月5日)

真室川町の遊楽館を会場に開催されました。

山形県最上総合支庁企画振興課長の酒井俊昭氏を講師に招き、「これからの地域づくりの課題について」と題しての講演を受講しました。

最上8市町村の行財政の現状分析がさまざまな角度から、事細かなデータとして画像やグラフで映し出され、それらの数値を基にした最上地域の将来シミュレーションを示しながら今後の最上地域のあり方と課題についての内容でした。

各市町村とも厳しい財政事情の中でそれぞれの特色を持って地域づくりに取り組んでいるが、社会的にも経済的にも効果的に且つまた、効率的な行財政運営を行うためには合併によりひとつの自治体となることが大きな選択肢の一つであるとの見解が示されました。

最上地域の将来に向けた大きな課題に対しての宿題を預かったよつな講演となりました。



メモを取りながら講演を聞く(遊楽館)

総務振興常任委員会

10月10日の結果について

原田山畑地化事業を現地視察し説明を受けました。今年度は天候に恵まれ、田の乾燥状態も良く、大豆の生育も例年より良好とのことであり、収穫作業もやりやすいように感じました。特にたらの芽が良いように感じました。2カ所目は、災害関連物資備蓄状況の調査で、舟形第4地区にある倉庫を視察しました。今後の留意点について

原田山畑地化事業

- 大豆の連作障害への対策は必要ないのか。
- たらの芽の台木栽培地として考えてはどうか。

災害関連物資備蓄状況

- 備蓄品の量が少なくないのか。
- 水等の有効期限内の利活用を考えるべきである。
- 備蓄品貯蔵庫の看板の名称の書きかえをすべきである。



大豆の生育状況と視察(原田山)



講演を聞く町村議員(交流プラザ)

山形県町村議会議員研修

(10月12日)

国際交流プラザに於いて県内の町村議員の参加のもと開催されました。

2名の講師による講演が今回の研修会の内容でしたが、最初は飯尾潤氏の「地域住民の負託に応える地方議会に向けて」の講演を受講しました。

教育、環境問題など中央と地方関係においてそれぞれの持つ代表制度を生かした役割分担の構築などこれからの地方議会の方向性を学びました。

次は「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題して、政治評論家の有馬晴海氏の講演でした。

政治家や議員秘書との話をもとに政局の現状分析と今後の展望を解説され、これから来春に向けた政界や政党の動きがどうなるのか興味深い話であり、将来の日本の進路を垣間見たよつでした。



進捗状況の説明を受ける(統合保育所)

10月23日の結果について

霊柩車廃止後の町民の反応及び小規模多機能型居宅介護について

霊柩車廃止直後は町民のとまどいと苦情があったが、現在は理解と協力を得ていると説明を受けました。

小規模多機能型居宅介護施設は、将来当町に必要と委員全員が認識しました。

今後はつど山斎場の使用料の減額、小規模多機能型施設等について検討を願いたい。

統合保育所建設工事の進捗状況現地調査

11月30日の結果について

工事の経過と進捗状況の説明を受け、初雪のドカ雪で現在の工事出来高は計画55%に対し51%の出来高で、今後屋根工事の進行により1週間位で計画出来高に近づくと説明を受けました。

今後冬期間の工事に入ります。労働災害0を目指して現場の安全と従業員の健康管理に留意して工期内の完成を望みます。

文教民生常任委員会

総務文教合同研修

(10月30日・31日)

東京都本所防災館の視察研修を行い多くの体験をしましたが、一番の庄巻は、地震体験コーナーで震度6〜7の地震を体験したことでした。その揺れのすごさは自分の身を守るだけでも大変であり、直下型地震の恐ろしさを知ることができました。防災館には、連日学校関係や会社、国外からも多くの体験実習に訪れるとのことで、当日も順番待ちをする程でした。

舟形町にも多くの活断層が縦断していることでもあり、地震を含めた災害に対する対応や、人命救助の知識を多くの町民に知ってもらう等の行政対応が必要と強く感じてきたところです。



ダニー人形を使用した人工呼吸(本所防災館)

文教民生常任委員会研修

(11月30日)

小規模多機能施設、小規模特別養護老人ホーム併設の「本丸ホーム」の視察研修について。

東根市では、特別養護老人ホームの入所希望待機者が250人以上いることから、地域密着型サービスの利用意向調査を行い、有効回答数40%弱の317人が「状況により利用したい」との結果を受け、地域密着型サービスの整備を推進したとの説明を受けました。課題として、

1. 土地、建物を新規に取得したために事業費が多額になったこと。
 2. 職員体制の年齢が若いので将来の人件費の増加で現在のサービスが維持出来るのか心配されること。
- 以上のことから、我が町でも小規模多機能型施設の検討を始める際には資金的計画と地域住民への説明責任を果たすべきだと考えます。

議会広報編集特別委員会

11月15日から2日間福島県新地町議会議を訪問、議会の紙面作りについて

お互いの議会報を見比べ、それぞれの編集方針や問題点についての意見交換を行いながら研修をしました。

委員の構成や発行の時期、主な内容については大きな違いはないが、ほとんどの紙面作りは事務局で行っていました。表裏表紙がカラーで単価が当町より安くなっていました。

今後の紙面作りにおいては改善すべきは改善をし、取り入れられるものは積極的に吸収し、研修の成果を生かした編集活動を心がけていきます。



議会広報委員の研修(新地町にて)

陳情

12月定例会で審査した陳情は次のように決定しました。

保険でより良い歯科治療の実現を求め意見書提出を求める陳情

陳情者

山形県保険医協会

採択

医療費の総枠を拡大し、患者負担を増額させることなく、保険でより良い歯科医療を確保できるよう要望します。

陳情者

山形県保険医協会

採択

介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止の意見書採択を求める陳情

陳情者

山形県保険医協会

採択

介護療養病床廃止、医療療養病床削減計画を中止させ、地域住民が安心して暮らせるように、介護保険事業計画を見直し、医療、介護、福祉制度や施設等の基盤を充実させること。

今期採択の陳情についての意見書を政府関係機関に提出しました。

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せ下さるようお願いしています。

先日、福寿野地区において、集落別施策展開検討会が開催されました。当地区の人口が、統計上30年間変わらず、減少もしないめずらしい集落であるということと、話を聞きたいという内容でした。

参加者は、行政関係者、地区の各種団体の代表者、各年代別の代表者です。町内会や各団体の活動の現状や課題等の意見交換が行われました。

当地区の世帯数は68戸ですが、三世代同居が大変多く、子供会も30名にぎやかな集落となっております。各種団体の活動も精力的で、子供から老人まで、それぞれの役割を果たしていると思います。私を含め、当地区は大変元気があるということとを再認識させられました。今、農村集落の崩壊などが心配されていますが、更に今から30年後も、統計上人口減少のない集落になる為にはどうすればいいかを考えることが、当地区、そして舟形町のテーマになると思います。



奥山政憲さん (福寿野)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



富樫市男氏 (75歳)
長沢1708番地

平成20年2月23日
平成23年2月22日迄

人権擁護委員の推薦に同意



見駿氏 (67歳)
舟形109番地

平成20年4月1日
平成23年3月31日迄

教育委員会委員の任命に同意



太田二三男氏 (61歳)
舟形903番1地

平成20年1月1日
平成20年9月30日迄
(残任期間)

選挙管理委員を選出

任期満了により新しく選挙管理委員会委員及び補充員を選出しました。任期は平成19年12月23日から平成23年12月22日まで。



中鉢時雄 (長者原) (72歳)



佐藤順子 (西堀) (68歳)



伊藤政春 (野) (63歳)



小野満 (真木野) (60歳)

- 補充員 原 三雄 (福寿野)
- 補充員 沼 澤 仁 (紫山)
- 補充員 阿 部 啓 (洲崎)
- 補充員 植 松 敦子 (長沢)

編集後記

明けましておめでとうございませう。昨年は今までになく米価が最低の価格になり、農家経済が大きく揺れ動いた年でありました。また、防衛省の汚職、食の安全偽装、そして薬害肝炎訴訟問題等国内を大きくさわがせた年でもありました。そのような中、都市と地方の格差が益々広がり、地方財政が厳しさをましている状況です。

私共も町民の皆様へ親しみやすく、読みやすい議会だよりの充実を図りながら努力してまいります。今後とも温かい御指導と御協力をお願いいたしますとともに、今年こそ良い年になりますように祈念いたします。

(大場清之記)



議会だよりふながた

発行編集 舟形町議会 議会報編集委員会

〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地 電話(0233)32-2111